



理解と不理解

新井俊一師

本願寺第8代門主の蓮如上人（1415-1499）の言葉に「心得たと思ふは心得ぬなり、心得ぬと思ふは心得たるなり。弥陀の御たすけあるべきことのたふとさよと思ふが、心得たるなり」というのがあります。

月に一度、私は「仏典講読の会」というのを開いて、十数人の人たちと浄土真宗関係の聖典を読んでいます。今のところ、親鸞聖人御消息を読んでいます。間の中断期間を除いて、通算15年以上この活動を続けています。それで気づいた事なのですが、受講者の中には、テキストに書いてある事がなかなか受け容れられなくて、挫折してしまう人がいます。大体は、その聖典に出てくる言葉が難しい、と言います。私の見たところ、その人たちは聖典の言葉を自分の知識と経験の範囲内で理解しようとしているのです。実際は聖典の言葉は「不可思議」の世界から来ているのです。私たちの小さい知恵の器に入りきるものではありません。

一方、聖典の言葉を読んだり聞いたりしても、全く問題を感じない人たちもいます。その人たちは、鈴が他の鈴の音に共鳴して鳴るように、心が聖典の言葉と共鳴しているのです。不可思議の世界から来る聖典の言葉のお風呂の中に首までつかのを楽しんでいるのです。

仏典の言葉を聞いたり受容したりするのは、音楽を楽しむのと似ています。一つの音楽が好きな理由を分析できるようなことはできません。好きな音楽には、心が共鳴するのです。宗教でも、私たちは親鸞聖人と同じ波長を持っているのでしょ、だから、聖人の教えを聞くときには仕合わせな気持ちに浸れるのです。

先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。



10月の予定

- | | |
|------------|----------|
| 5日（日）10時 | 家族法要 |
| 英語ご法話 | 窪瀬こうよう師 |
| 10時45分 | 日本語プログラム |
| 12日（日）10時 | 家族法要 |
| 10時45分 | 日本語プログラム |
| 19日（日）10時 | 初参り法要 |
| 10時45分 | 日本語プログラム |
| 26日（日）10時 | 子供・家族法要 |
| 10時45分 | 日本語プログラム |
| 2日（木）1時半 | 日系マナー法要 |
| 28日（火）10時半 | 敬老ホーム法要 |



会長の挨拶

森久保ゆきお

南無帰依法……

仏教徒に、特に浄土真宗の仏教徒に、提供する事のなかで教育はシアトル別院の最も重要なことのひとつです。私たちの先生（開教師、ミニスター・アシスタント、宗教部、ダーマ・スクールの先生、その他のシアトル別院メンバー）はそれをととても真剣に取り組んでいます。私たちと仏法を分かち合い幸せな人生を送るために、彼らは一生懸命で多くは無報酬です、そして限りなき知恵と慈悲なる仏様に近づけるようリードされてます。今月はそういう方々の努力を認識しましょう。

仏法は簡単に教えたり学んだりできないものです。深く理解するには話し手は適切な言葉とよい例え、確かな話し方で表現し、聞き手もそれを聞く用意が必要です。そしてこれらすべてが、タイミングのよい時に起きなければなりません。そしてそのご法話が印象深ければその方が自分のものと収穫する時に思い起こすことができます。

そのスパークを起こすには大変な両の仕事と献身が必要です。でもそれが起こったとき、その人の悲しみを減らす助けになり、人生への感謝を深めます。そうです、教育は支え、励まします。

そして支え励ますことが秘訣です。シアトル別院は教育の機会を常に提供しています。私たち会員のために何時でも聞く用意のできたときに、必要な時に。法話は用意され、クラスは計画され、セミナーは企画され、日本語法話は録音され、ニュースレターは集められ編集されています。私たちの教育に係わる人たちはそれを限られた時間とお金でしています。私はその方々の教育のミッションを進行さす仕事にたいし賞賛します。

あなた方の中で最近のセミナー、法要、その他の宗教か教育イベントに参加されてない方、どうか来て下さい。別院では少人数のブックグループの会話やメディテーション、そして最近催された女性のセミナーや来年の2月に予定の西北部仏教徒大会などの大きな集まりがあります。

この記事をお読みのこの時間にもこのような勉強の機会を用意して計画する方々を感謝してください。

このような努力で貴方に「南無帰依法…」の機会を作っています。シアトル別院がなければこの古い知恵の恩恵にもあずかれません。そしていつでも貴方の用意が出来た時にここにいます。合掌、

初参りのご案内

初参りは赤ちゃんが初めてお寺に参って祝福をうけ、如来様と先祖にご報告するため、尊前で喜びの式をいたします。

ことしの初参り式は10月19日10時より執り行われます。幼児に限らず何歳でも参加できます。申し込み用紙は英語面にあります。10月12日までに別院事務所まで送られるかお持ち下さい。ダーマ・スクールから詳細を連絡します。ご質問は別院事務所 206-329-0800 9時から3時まで。

補聴援助機器について

補聴援助機器は現在日曜法要で使われて大変喜ばれています。難聴の方々に直接マイクから聞こえる設備です。この機械を個人のメモリアル・サービス、結婚式およびその他の集まりでも使えるようになりました。詳細は別院事務所までご連絡下さい。206-329-0800.

お稚児行列

11月2日の永代経無縁法要ではお稚児行列はを執り行います。参加希望の方は別院の事務所にて書類をお受け取りください。また年齢などの詳細は事務所までお尋ねください。



ミュージック・ノート

英語の法要の後に少し時間ができましたらハワイとバイエリアから頂いた新しい曲を練習しはじめます。また何か楽器を弾ける方はラニー・カーペンターかケミ中林まで知らせてください。一緒に演奏しましょう。23日の音楽法要、2月の西北部仏教徒大会の用意もしています。ウクレレグループ演奏19日、26日にはスポーケーンから尺八を演奏して下さる方が来てくださいます。9時45分からですので早い目に本堂に来て下さい。

婦人会便り

会長の挨拶

加藤ファミリーのお別れ会

婦人会副会長を勤められていた加藤ジョイスとファミリーが9月下旬にカリフォルニアに引っ越されました。9月14日に別院においてお別れ会が催され家族の今までの数々の貢献に感謝した。ジョイスは副会長として大変活躍されましたがご主人のエドも去年はじめて私たちの先亡者追悼法要で先亡会員のお写真・お名前をスクリーンに映す試みをし、700名以上のお名前と70枚以上のお写真をコンピューターにいれてくださいました。とても長い時間と労力がかかりました。お二人のご奉仕に感謝しております。



毛糸をご寄付ください

使わなくなった毛糸をお持ちの方に寄付を呼びかけております。豊島夫人はもう長いこと毛糸の帽子を編んではホームレスの方々に差し上げておられたいへん喜ばれております。編み物が好きで、楽しまれておられ同時に人助けにもなっております。

ホスピタリティー・コミティー

婦人会には色々なコミティーがあり皆さんお世話されていますが、その一つがホスピタリティー・コミティーでゲストの先生がお寺にこられたときにラウンジを清掃、お茶の接待をされています。ここ数ヶ月何度もご奉仕の機会があり、感謝しています。

セーフ・ドライブ・クラス

婦人会ではフレッドさくら氏をお招きしセーフ・ドライブ・クラスを計画しています。さくら氏は経験長い方で日系ホライゾン・クラスも教えられています。クラスは10月22日(水)と24日(金)の二日で10時から3時 昼食持参のこと。

費用はAARP会員15ドル、非会員20ドル。

会長のジャネット馬場が旅行中ですので和田真知子がリポートしました。

カレンダー

10月5日 婦人会理事会

10月10-12日 米国仏教団婦人会連盟大会、アーバイン、加州

10月26日 婦人会先亡者会員追悼法要

寄付のご芳名は英語面をご覧ください。

今後の予定

10月19日(日) 初参り法要

10月26日(日) SBBWA先亡者会員追悼法要

11月2日(日) 永代経無縁法要、おちご行列

11月23日(日) ファミリー・ミュージック・サービス

2月13-15日 2015年 西北部仏教徒大会 シアトル主催 ベルビュー・ウェスティン・ホテルにて

紙面の都合で写真は英語面にあります。ジャネット馬場やサット市川の撮ってくださった写真です。いつもありがとうございます。

日本語法要

シアトル別院では毎日曜日 10時45分頃から日本語プログラムとして、日本語のご法話のビデオを見せて頂いております。30分くらいです。いらした事のない方も気楽にぜひご参加ください。お待ちしております。

女性のセミナー

9月20日催された女性のセミナーは90名を超える参加者の出席があった。遠くカナダやポートランドなどからも来てくださった。今年は日本語を話す先生がおられず少し寂しい気分でしたが、日本語法要に出席される方々も多く参加されうれしいことでした。コロラドより来沙のキャロル・オダウ師、ハワイのヒロより来て頂いた近藤みどり先生、それにベインブリッジ島よりお招きしたシエラ・リー・ブリナー夫人にはそれぞれ素晴らしいセッションをして頂き出席者一同学ぶべきところが多々ある一日でした。



上 近藤みどり師



左端 シエラ・リー
ブリナー夫人



左 オダウ師